

## 福岡県ジェネリック使用促進協議会 中間報告書（骨子）（案）

### はじめに

急速に少子高齢化が進む中、我が国の保険医療は様々な問題に直面しているが、特に本県では県民 1 人当たりの医療費が全国平均に較べて高く、老人医療費は全国第 1 位の状況である。

そこで、県内におけるジェネリック医薬品（以下、「GE」という。）の使用を促進することにより、医療の質を確保しながら患者負担の軽減及び医療費の抑制を図るため、有識者及び関係団体等による福岡県ジェネリック医薬品使用促進協議会を設置した。

平成 19 年 8 月の第 1 回開催から、3 年間で 1 2 回開催（予定）し、GE に係る課題やその対策等について、鋭意協議を重ねてきた。設置から 3 年が経過したことで、中間報告書として、これまでの活動を取りまとめるものである。

### 1. GE の現状と問題点

#### （1）GE が注目された理由

- GE は、先発医薬品と同じ有効成分、同じ効き目をもつ。即ち、先発医薬品と生物学的に同等である医薬品でありながら、その価格が先発医薬品に比べて安いので、使用すれば、患者の薬剤費の負担が軽減されるとともに、国・県の負担する医療費が抑制される。

#### （2）事業の目的

- 平成 24 年度までに、GE の数量シェアを 30% 以上にすることを目標に、医療関係者や県民が GE を利用しやすい環境を整備し、使用促進を図る。

#### （3）GE の課題

- 患者を始め、県民に「知られていない」
- 品質、供給、情報提供等の点で、医師、薬剤師等医療関係者の「信頼を得ていない」

### 2. 取り組み

#### （1）課題の明確化

- 県民へのアンケート調査
- 病院への調査
- 薬局への調査
- モデル病院への調査

#### （2）協議会における課題の検討

#### （3）啓発事業

- 啓発資材（ポスター、リーフレット）の作成
  - TV、新聞、広報誌などでの周知
  - ふくおか県政出前講座
  - モデル市町村における通知事業
- (4) 医療関係者研修事業
- 病院長等研修
  - 病院薬剤部長研修
  - 薬局管理薬剤師研修
  - 地域での診療所、調剤薬局研修
- (5) 医療関係者向け資材の作成
- 採用マニュアル
  - モデル病院採用リスト
  - 汎用リスト（仮）
- (6) 溶出試験
- 実施の経緯
  - 試験の結果

### 3. 成果

- (1) 流通実態調査におけるGEシェアの拡大
- (2) 住民の関心の高まり（県政出前講座）
- (3) 医療関係者の取り組み
- (4) 「環境整備」に徹したことによる成果

### 4. 今後の課題

- (1) 取り組みの対象の選定
  - 網羅型の取り組みから、重点型の取り組みへ
- (2) 連携のあり方
  - 病院薬剤師と薬局薬剤師の連携 等
- (3) その他（提言）
  - 製薬企業に対して
  - 流通について（卸 等）
  - 病院（医師）
  - 病院薬剤師
  - 薬局薬剤師
  - 患者（住民）
  - 行政（国、県）

## 5. 参考

### (1) GEについて

- GEの定義
- 先発品との同等性等について
- GEの承認制度について
- 再審査・再評価について
- GMPについて
- 品質、供給体制、情報提供等について
  - 過去の経緯（「ゾロ」と蔑称されていた時代のこと）
  - 現在の状況

### (2) 国の施策

- 医療費の動向
  - 平成20年度の概算医療費は約3.4兆円。
  - 年間約1兆円増加。
  - そのうち薬剤費は、約2割。
- 国の取り組み
  - 通知や療担規則の改正
  - 処方せん様式の変更
  - アクションプログラム